

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

2020年12月期  
第3四半期

機関投資家向け  
説明資料

2020年12月

<https://www.solxyz.co.jp/>

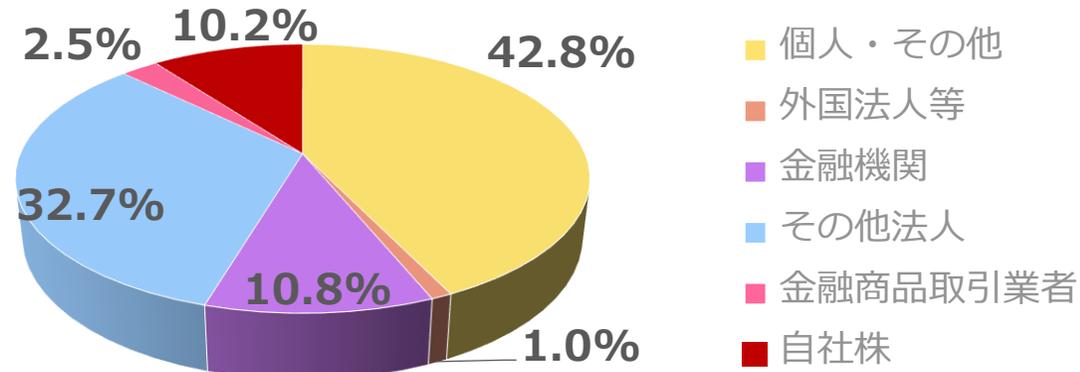
# 会社概要・グループ戦略



# 会社概要

商号:	株式会社ソルクシーズ (SOLXYZ Co., Ltd. )
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組み込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円 (2020/6月末現在)
決算期:	12月31日
従業員数	連結:746名 2020/6月末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 10名、社外取締役 3名、監査等委員設置
子会社:	11社

## 2020/6末 株主構成



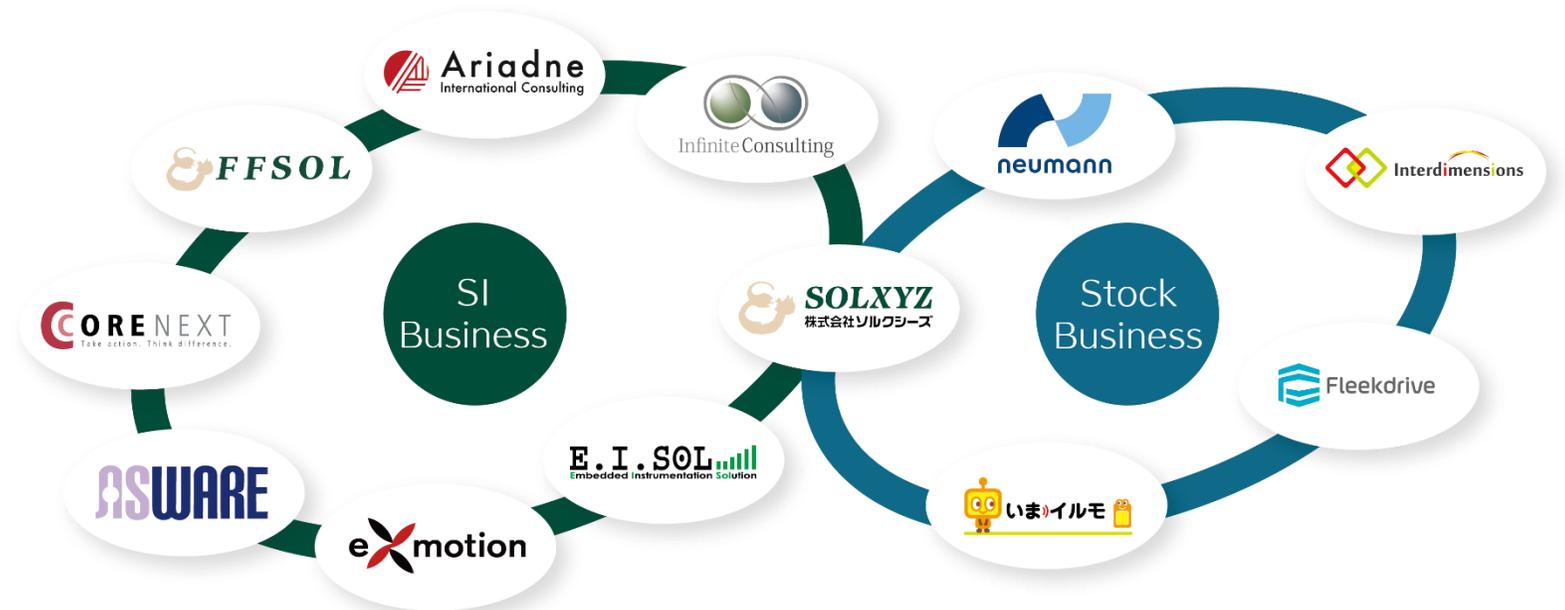
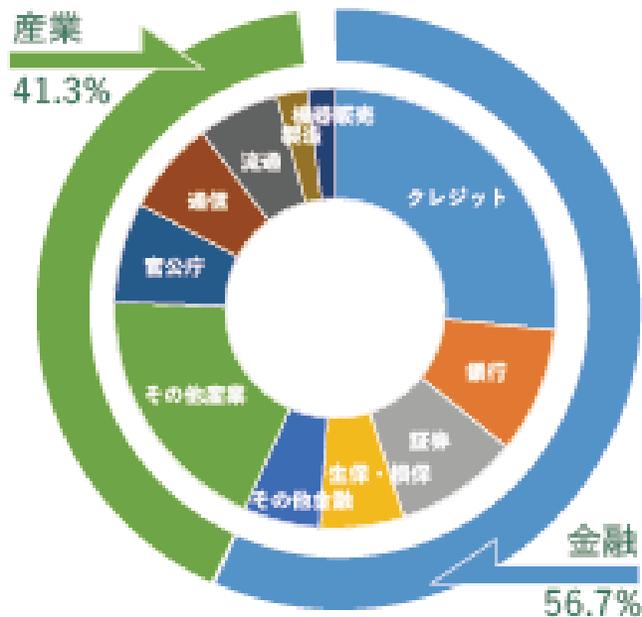
代表取締役社長 長尾 章

1955年2月23日生  
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役  
1998年1月 合併により当社専務取締役  
2006年3月 当社代表取締役社長に就任  
他グループ企業10社の取締役兼務

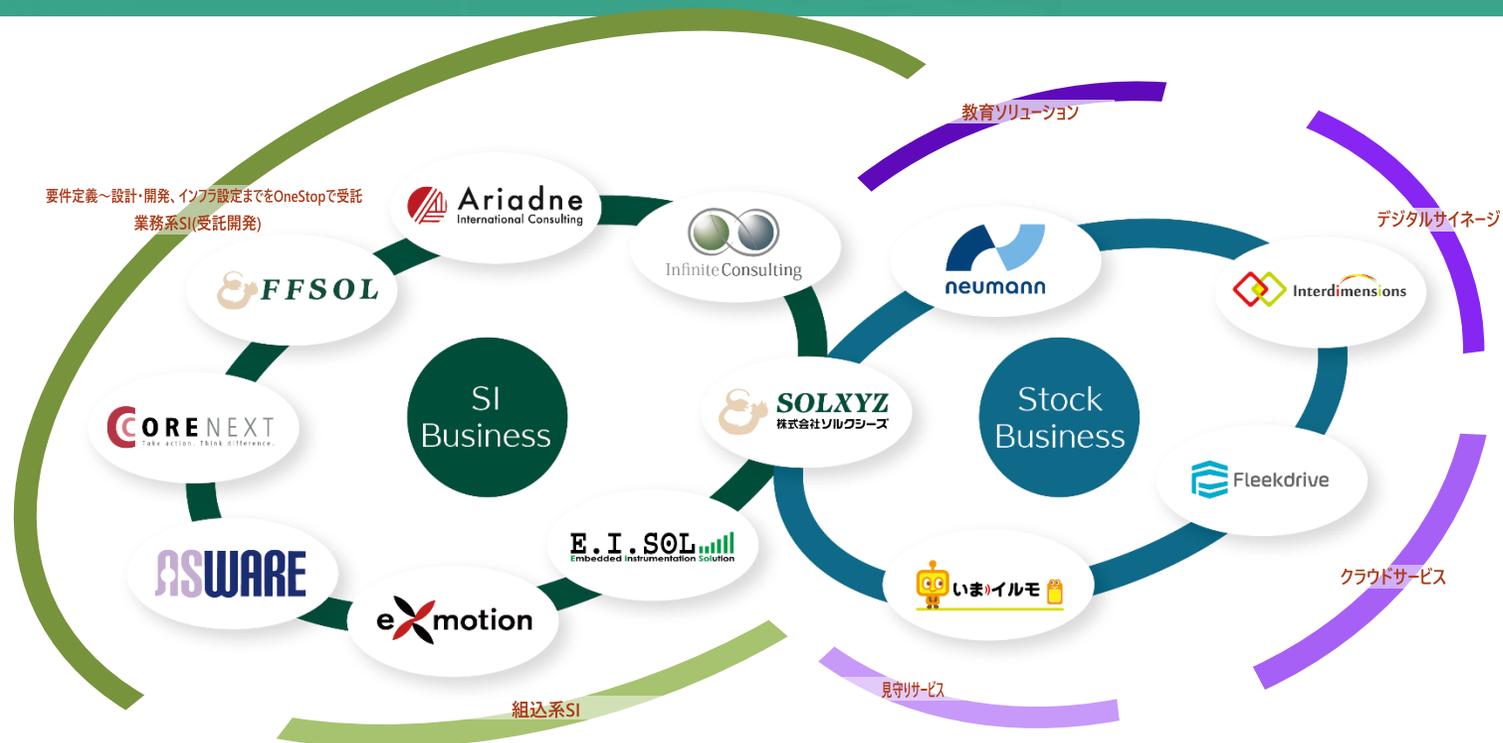
# グループ構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の90%超、うち50%超を金融系が占める  
クレジット系などを中心にソリューションを提供
- IoTや自動運転等、専門技術に長けた子会社11社を統括

業種別の構成比



# グループ概要 (SIビジネスとストックビジネスの両輪)



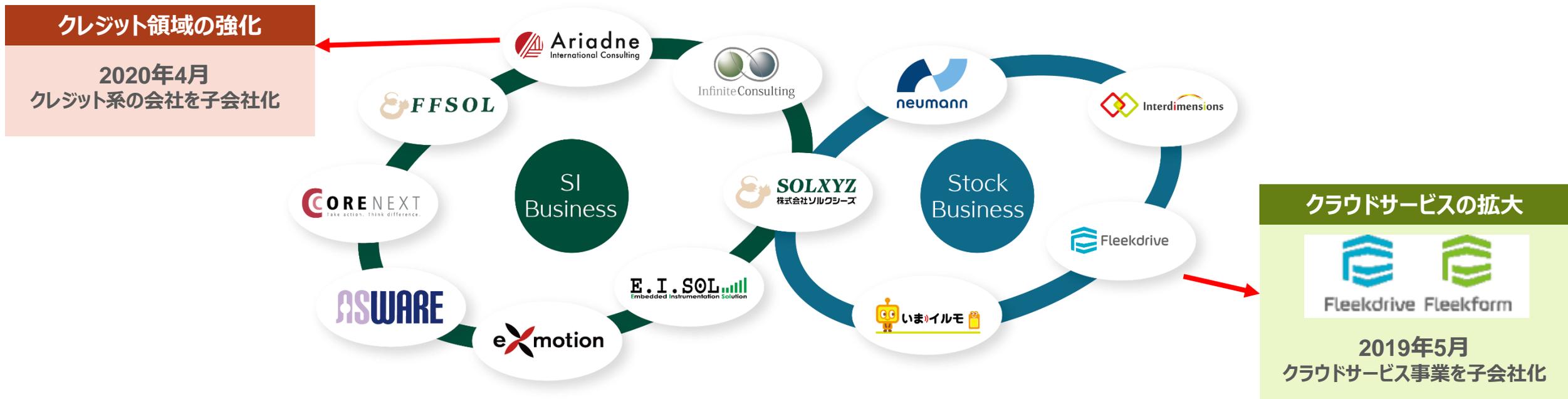
S Iビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
エクスマーション	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業
<b>NEW!</b> アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング	SI クレジット業務全般に関する企画、提案、 コンサルティング	信販・クレジット

ストックビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
ノイマン*1	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いまイルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
(株)Fleekdrive	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業

※ 19/12よりノイマンはtecoを吸収合併

# 当社グループの成長モデル

- 継続的成長に向け、SIビジネスとストックビジネスの両輪を拡大（両輪施策）  
（ストックビジネスについてはM&Aを主軸に展開）
- 利益率向上に向けた、組込み（自動車、IoT等）領域への拡大
- スタートアップ企業への出資と育成による新技術領域とIPO企業の創出



# 注力分野

## クラウドサービス ((株)Fleekdrive)

- ・FleekdriveとFleekformが中心の企業向けコンテンツ管理サービス
- ・他サービスとの連携も推進
- ・現在550社超の契約実績
- ・テレワークを背景に市場拡大を図る

## CASE ((株)エクモーション)

- ・エクモーションが、コネクティビティ(接続性)・オートノマス(自動運転)・シェアード(共有)・エレクトリック(電動化)等に対応する設計支援ビジネスを、大手自動車メーカー向けに実施
- ・豊田通商(株)との資本・業務提携及びコアパートナー4社への選定をテコに、事業規模が拡大

## AI ((株)ソルクシーズ)

- ・資本参加先の(株)アックスの技術の中核に、既存顧客へのAIソリューションを企画
- ・UiPath(株)と開発リソース・パートナー・プログラムを締結し、特に金融や製造業の開発現場で必要とされている、RPA技術を用いたソリューションの提供が可能

## IoT ((株)EISOL、いまイルモ)

- ・EISOLのIoTソリューション「状態監視/予知保全システム」が中心
- ・国内の製造業で稼働実績あり
- ・見守りソリューション「いまイルモ」も、全国各地で実証実験が進行中

## FinTech ((株)ソルクシーズ)

- ・SBIが進めているブロックチェーン等を活用した各種ビジネスに技術協力を実施
- ・SBI主催の各種コンソーシアムに参加し、開発案件を創出
- ・資本業務提先のジーフィット(株)の商品展開や新機能開発にも協力予定

## ETC . . .

- ・ソルクシーズグループの総力を挙げて、デジタルトランスフォーメーション (DX) に取り組んでいきます

業績概要：  
2020年12月期第3四半期決算



# 第3四半期 総括

■ **売上高**： **9,524**百万円（前年同期比**-1.7%**）

**営業利益**： **526**百万円（同**+10.0%**）

粗利率、**前年同期比1.1ポイント改善**

営業利益率、**前年同期比0.6ポイント改善**

…金融系が好調継続も、官公庁・通信関連などの産業系が減少し、売上高は前年同期より微減

■ **FinTech、クレジット関連が好調、各利益は過去最高値に**

…単価の向上やクラウドサービスの伸長等により、各利益は四半期累計で過去最高を達成

■ **新型コロナウイルスの影響により一部子会社が減収も、クラウドサービスが好調**

…エクスマーション等が新型コロナウイルスの影響を受けるも、反対にテレワーク需要などでFleekdriveが好調

■ **通期予想に変更は無し**

…3Q時点で前年の進捗度と大きな変化は無し。通期予想は据え置き

# 新型コロナウイルスの業績への影響・見通しについて

- ・ 多くの子会社では影響は軽微だが、一部子会社は開発の延伸・中断の影響あり（現在は回復傾向）
- ・ テレワークの加速等プラスの影響も継続、現時点では下期（本決算）も大きな影響は出ない見込み

## 新型コロナウイルスによる主なグループ会社への影響（現時点）

会社名	影響度		影響の詳細・今後の見通し
	上期	下期予想	
ソルクシーズ（本体）	僅少	僅少	依然、影響は軽微。今後はキャッシュレス化の加速などにより、クレジット分野に好機の可能性あり
エクスマーシオン	中～大	小	プロジェクト中断や自宅待機により新規案件が縮小し、減収減益。
イー・アイ・ソル	中	小	テレワーク等が影響し、事務作業の遅延により検収が4Qにズレ込み。案件延伸等の影響は僅少
ノイマン	大	小	自動車教習所再開により営業を再開、ベトナム向け開発も再スタート。 全体では遅れを取り戻しにかかっている状況。
Fleekdrive	小	僅少	展示会の中止などあるも好調。テレワーク無償キャンペーンにより大量獲得した無償契約分の効果は限定的だったが、本来の有償契約自体は好調に推移。
その他子会社	僅少	僅少	現時点でも概ね影響は僅少

# 第3四半期決算 損益サマリー

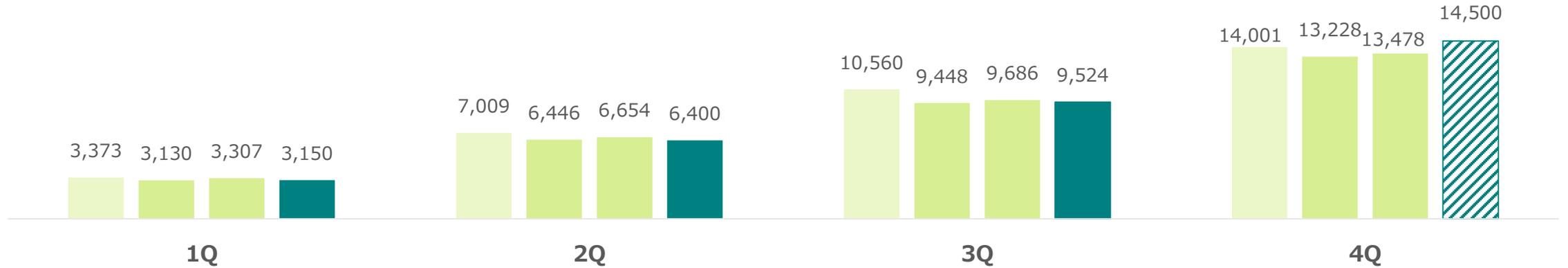
- ・売上高は新型コロナウイルスの影響もあり前年同期より微減も、
- ・単価の向上やクラウドサービスの伸長により、各利益が四半期累計で過去最高となり、利益面は前年同期比より大幅増

(単位：百万円)	2019/12期 3Q	売上高比	2020/12期 3Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高	9,686	-	9,524	-	-1.7%
売上総利益	2,087	21.6%	2,160	<u>22.7%</u>	+3.5%
販売管理費	1,609	16.6%	1,633	17.2%	1.5%
営業利益	478	4.9%	526	<u>5.5%</u>	<u>+10.0%</u>
経常利益	494	5.1%	570	6.0%	+15.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	270	2.8%	360	3.8%	+33.3%

# 損益サマリー-四半期別推移 (売上高)

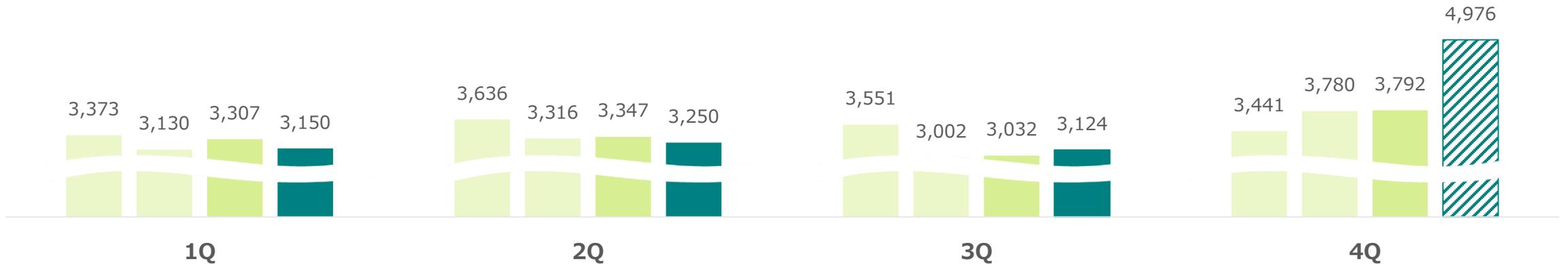
## 四半期毎の売上高推移 (累計)

■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



## 四半期毎の売上高推移 (四半期別)

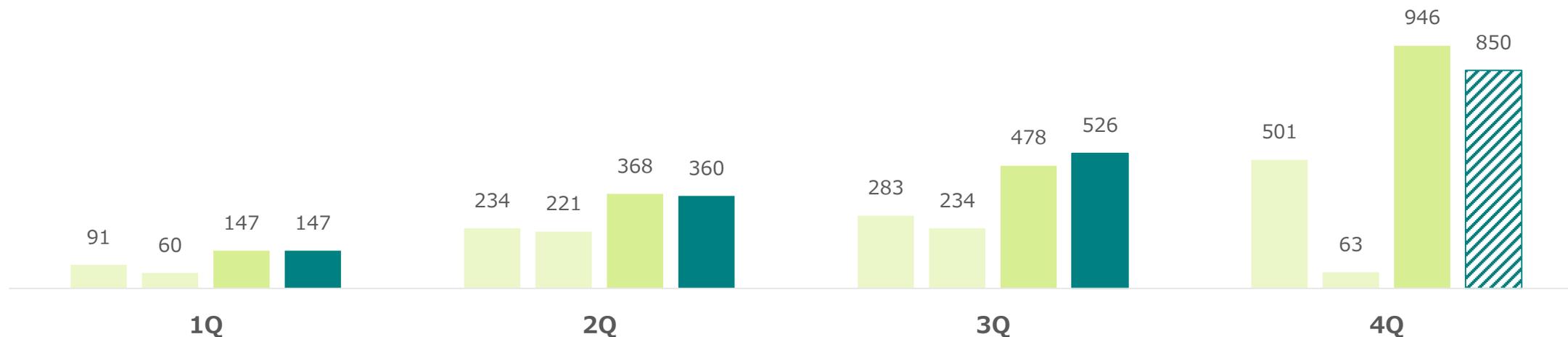
■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



# 損益サマリー-四半期別推移 (営業利益)

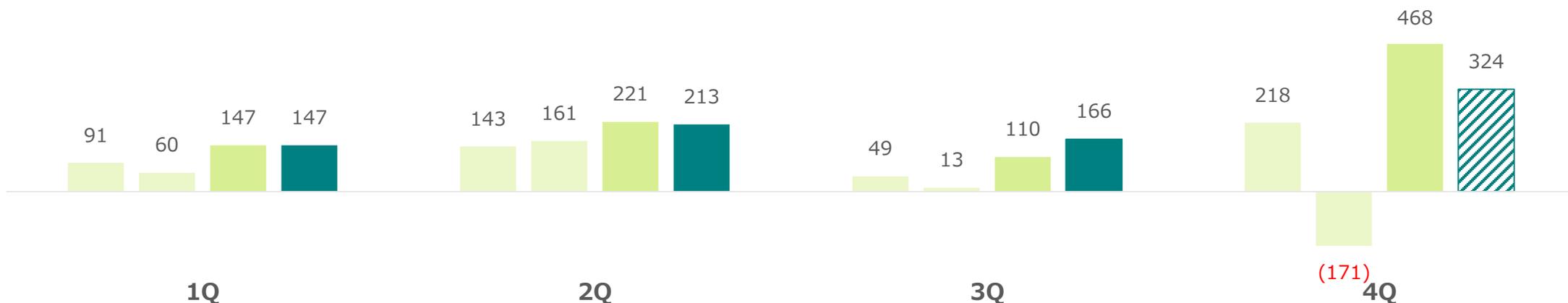
## 四半期毎の営業利益推移 (累計)

■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



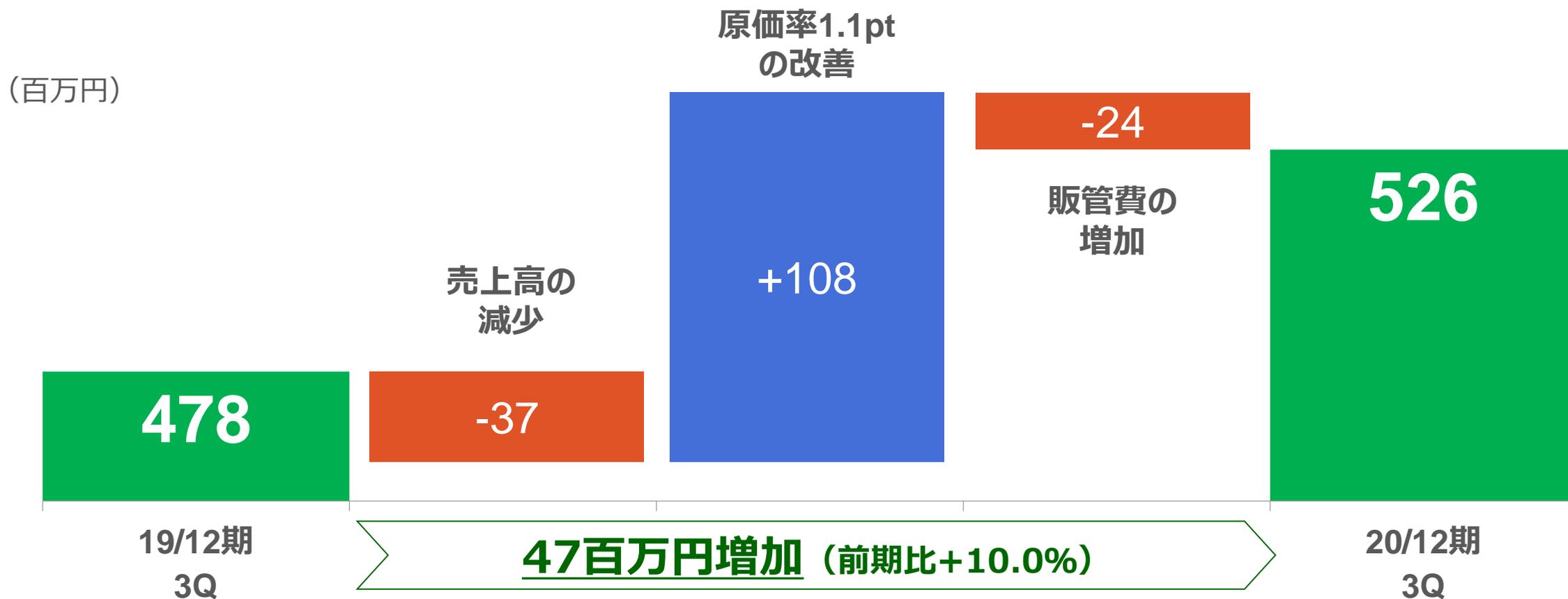
## 四半期毎の営業利益推移 (四半期別)

■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



# 営業利益の変動要因

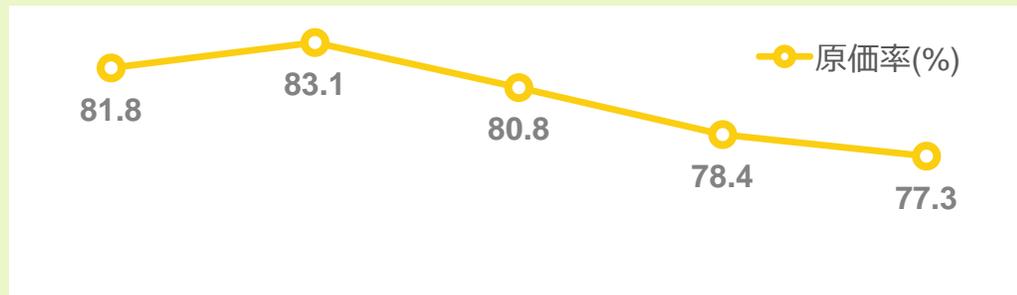
- ・案件の単価向上や、SaaS型クラウドソリューションFleekdriveの伸長による原価率改善が寄与



# 費用 & 利益構造の過年度推移

- ・利益率の高い組込み系、クラウドソリューションの伸長等に加え、単価の上昇も粗利率改善に貢献
- ・販管費はやや上昇も、売上総利益率、営業利益率は第3四半期累計で過去最高水準

### 売上原価率



16/12期 3Q 17/12期 3Q 18/12期 3Q 19/12期 3Q 20/12期 3Q

### 売上総利益率



16/12期 3Q 17/12期 3Q 18/12期 3Q 19/12期 3Q 20/12期 3Q

### 販管費率



16/12期 3Q 17/12期 3Q 18/12期 3Q 19/12期 3Q 20/12期 3Q

### 営業利益率



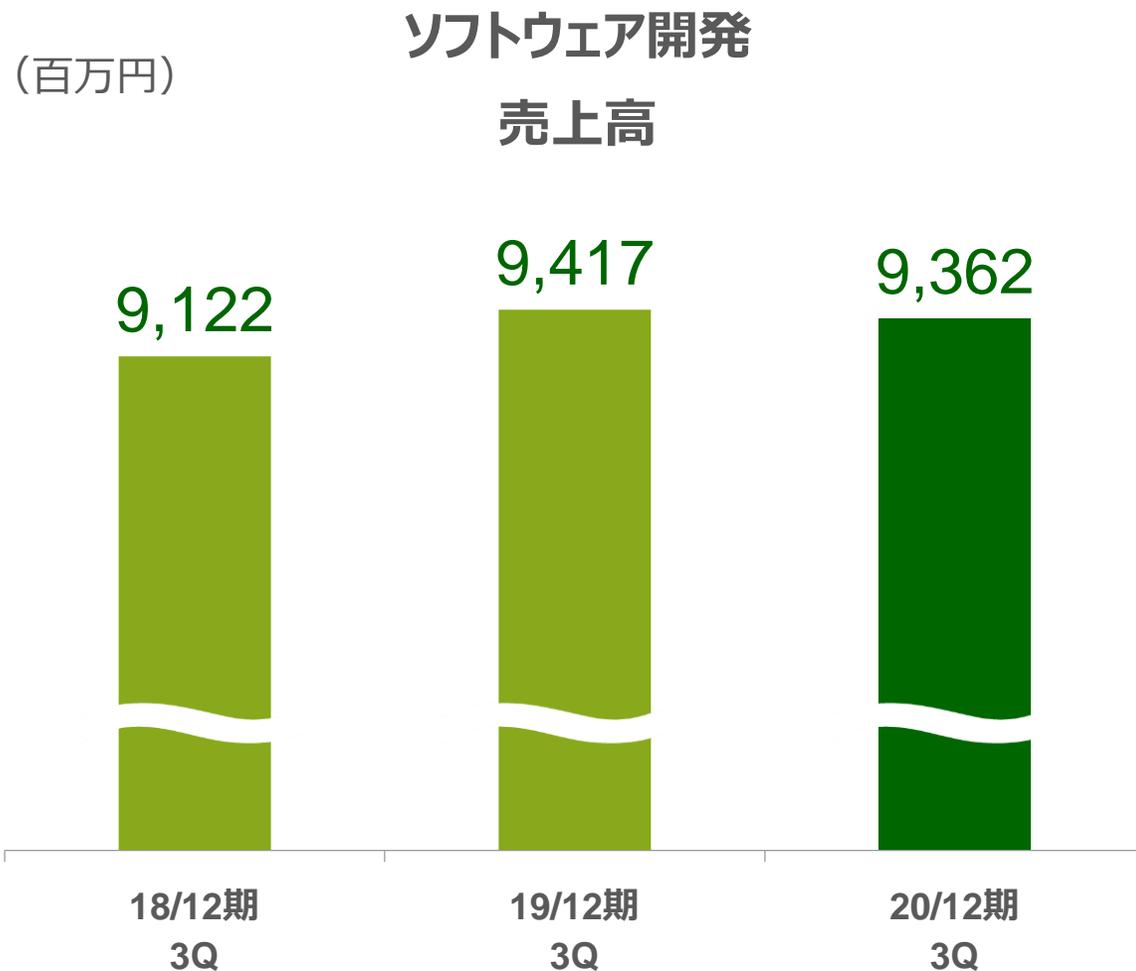
16/12期 3Q 17/12期 3Q 18/12期 3Q 19/12期 3Q 20/12期 3Q

# セグメント別損益の前期比

- ・ソフトウェア開発はクレジットやFinTech等、金融系は好調も、官公庁向け等の産業系の減少で微減
- ・新型コロナウイルスの影響により、デジタルサイネージ事業は減収

(単位：百万円)	2019/12期 3Q	売上高比	2020/12期 3Q	売上高比	前年同期比 増減率
<b>売上高 (A+B)</b>	<b>9,686</b>	-	<b>9,524</b>	-	<b>-1.7%</b>
ソフトウェア開発 (A)	<b>9,417</b>	97.2%	<b>9,362</b>	98.3%	<b>-0.6%</b>
デジタルサイネージ (B)	<b>268</b>	2.8%	<b>161</b>	1.7%	<b>-39.9%</b>

# セグメント別推移-ソフトウェア開発事業（S Iビジネス）



□ 売上高：9,362百万円

前期比：-0.6%

- ✓ 企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）投資は加速し、需要は旺盛
- ✓ クレジット、銀行、製造業向け受託開発が好調な一方、官公庁や通信業向けの開発案件が減少
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、エクスマーションなど一部の子会社が苦戦、案件の延伸も発生

## ※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

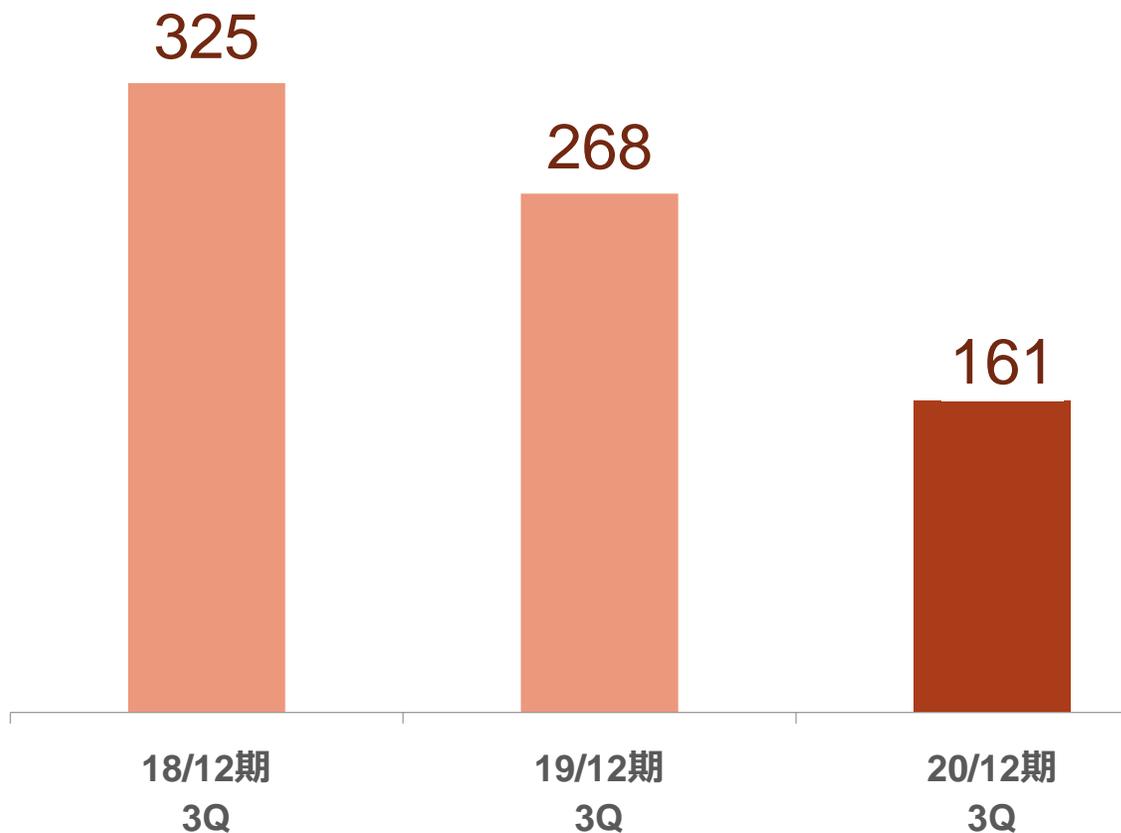
## 計上対象の売上げ：

当社本体、エフ・エフ・ソル、イーアイ・ソル・インフィニットコンサルティング、エクスマーション、コアネクスト、アスウェアの各売上げ

# セグメント別推移-デジタルサイネージ事業

## デジタルサイネージ事業 売上高

(百万円)



□ 売上高：161百万円

前期比：-39.9%

- ✓ 案件の小型化に加え、新型コロナウイルスの影響を受け減収

※当セグメント計上対象の売上げ：

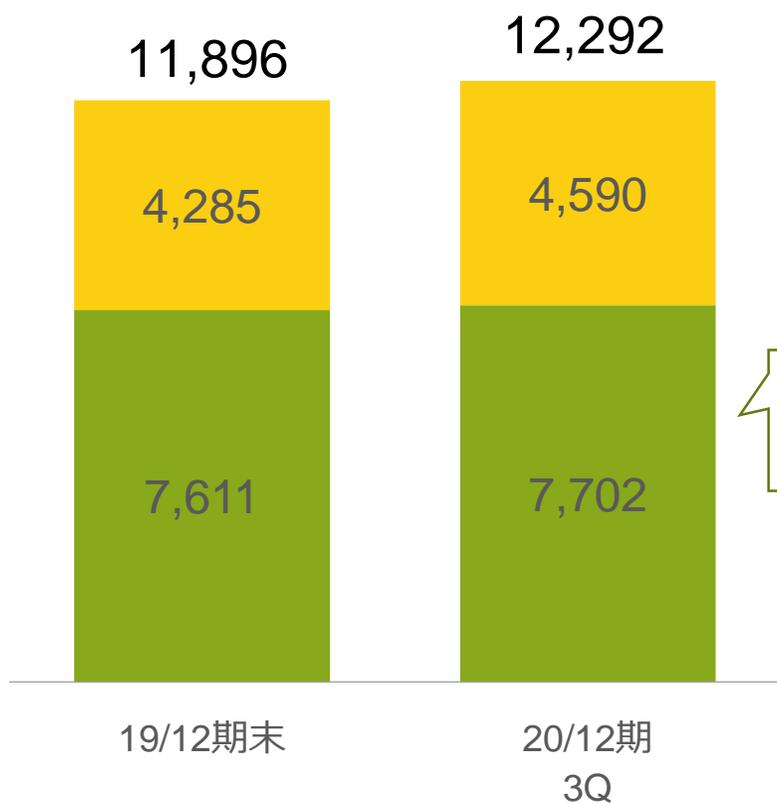
S/I受託開発、ソリューション業務以外の売上げ=インターディメンションズの売上げが対象

# 貸借対照表

・大きな変化は無く、自己資本比率も50.4%と健全な範囲で推移

## 資産

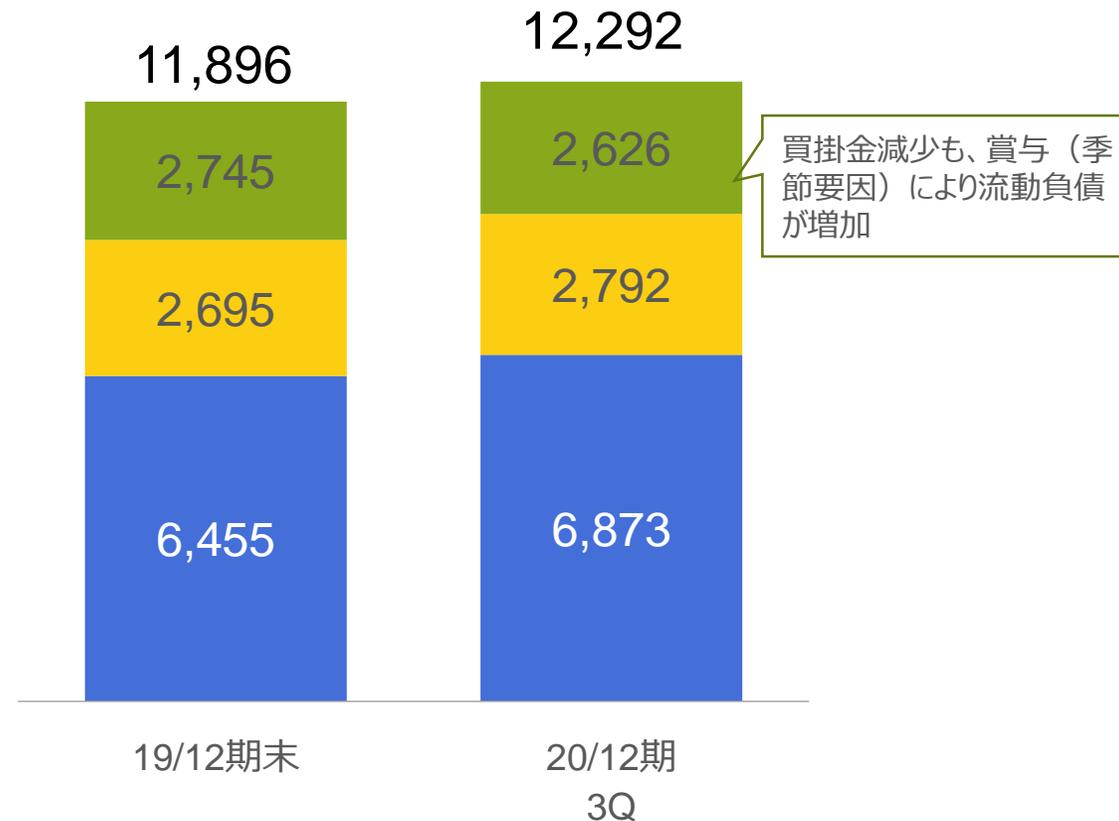
■ 固定資産 ■ 流動資産



主に仕掛け品や現預金の増加により流動資産が増加

## 負債・純資産

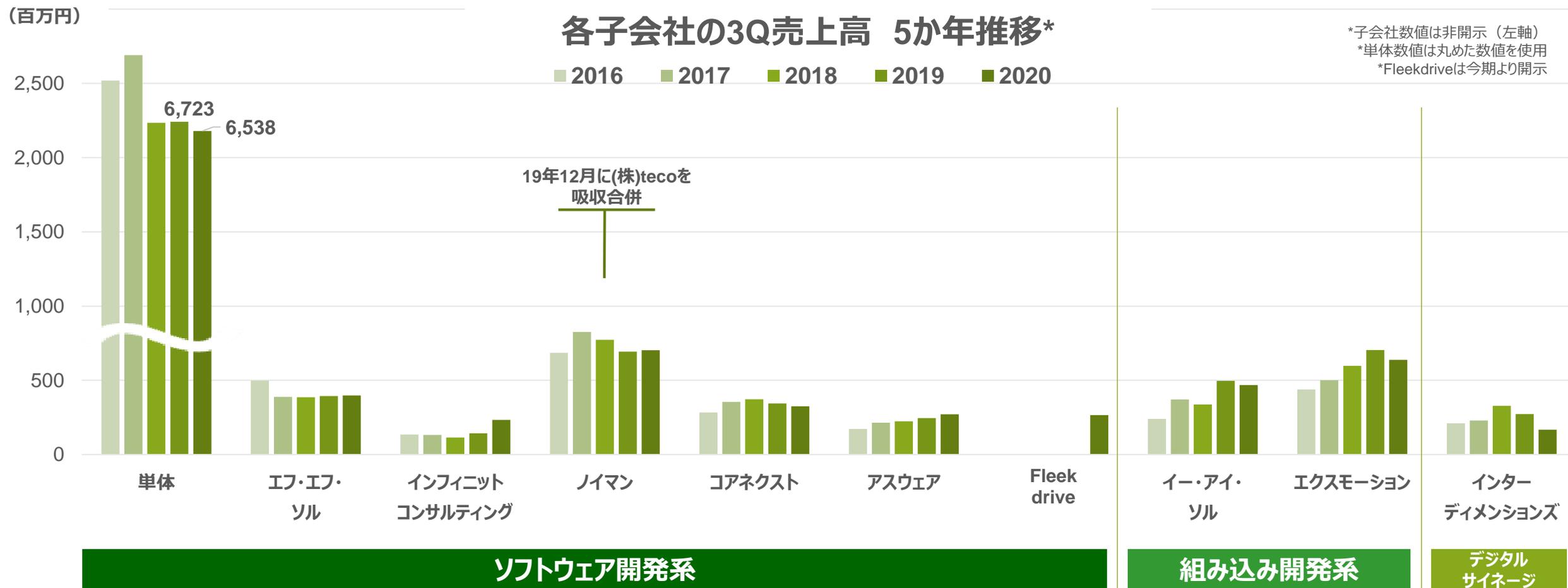
■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



買掛金減少も、賞与（季節要因）により流動負債が増加

# グループ会社の業績概要イメージ（3Q累計売上高）

- ・銀行系に強いエフ・エフ・ソル等が伸長
- ・新型コロナウイルスの影響を受ける子会社もあるが、概ね回復傾向



# 各子会社・単体の業績概況

ソフトウェア開発事業

## 業務系受託ソフトウェア・コンサルティング業務 業績（前年同期比）



(株)インフィニットコンサルティング

コンサル案件が引き続き好調



## 業務系受託ソフトウェア・開発業務



(株)エフ・エフ・ソル

FinTech案件が寄与し、順調



(株)コアネクスト

新規顧客開拓が遅れ大型案件が減少傾向



(株)アスウェア

豊富な案件を背景に堅調な推移を継続



## 業務系ソリューションサービス



(株)ノイマン

コロナ禍からの回復はまだ時間を要す  
\*昨年12月に子会社tecoを吸収合併



(株)Fleekdrive（フリークドライブ）

テレワーク需要の後押しで堅調



## 組込コンサルティング業務



(株)エクスモーション

コロナ禍の影響が大きく、通期下方修正



## 組込系開発業務・ソリューションサービス



(株)イー・アイ・ソル

IoTソリューション、受託開発ともに順調も  
期ズレ分が4Qにシフト



## デジタルサイネージ事業



(株)インターディメンションズ

コロナ禍による影響が継続



## ソルクシーズ単体

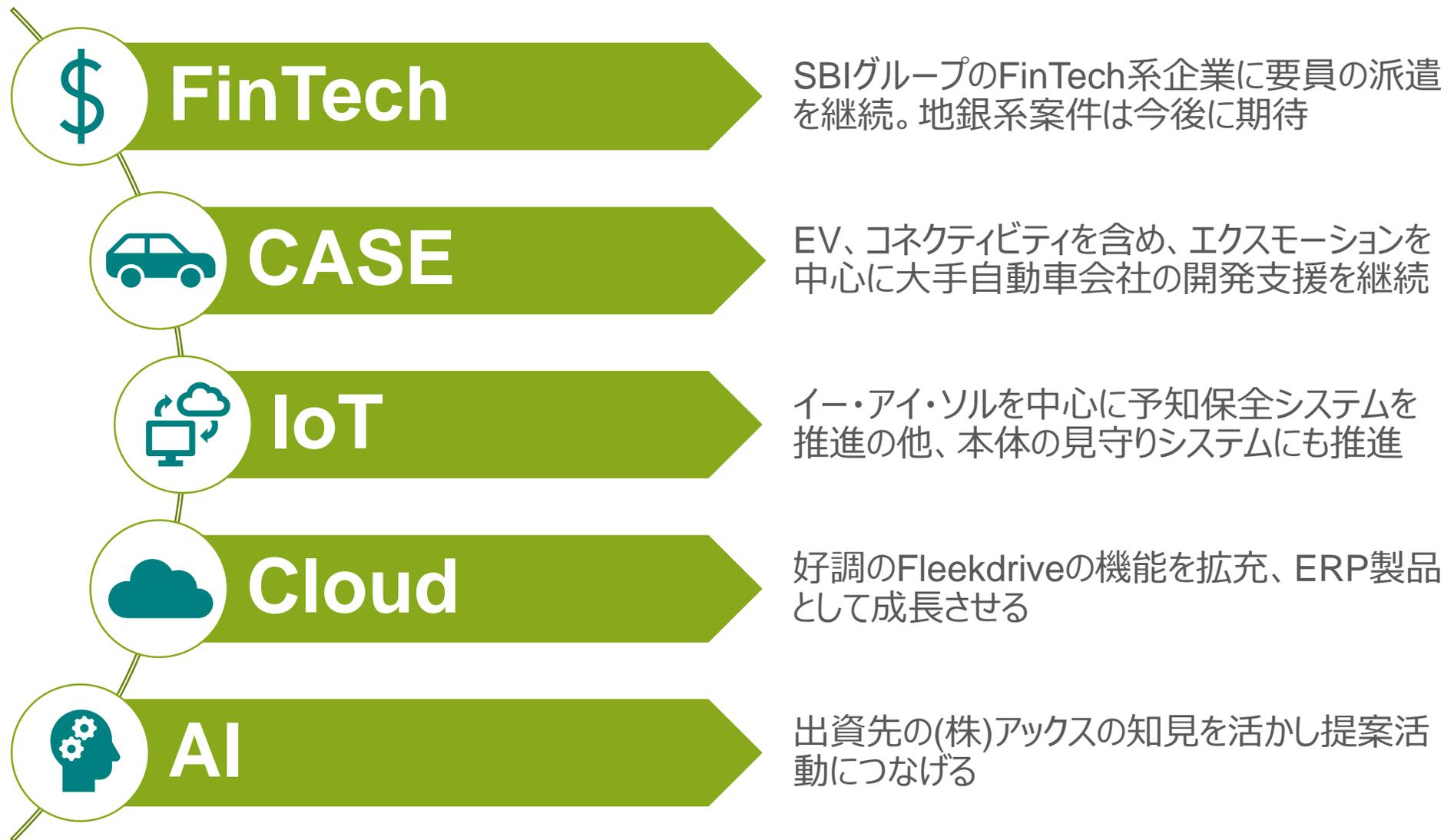


(株)ソルクシーズ（単体）

FinTech開発及びクレジット向け開発が伸長



# 注力領域の状況



# FinTech関連の伸長-1

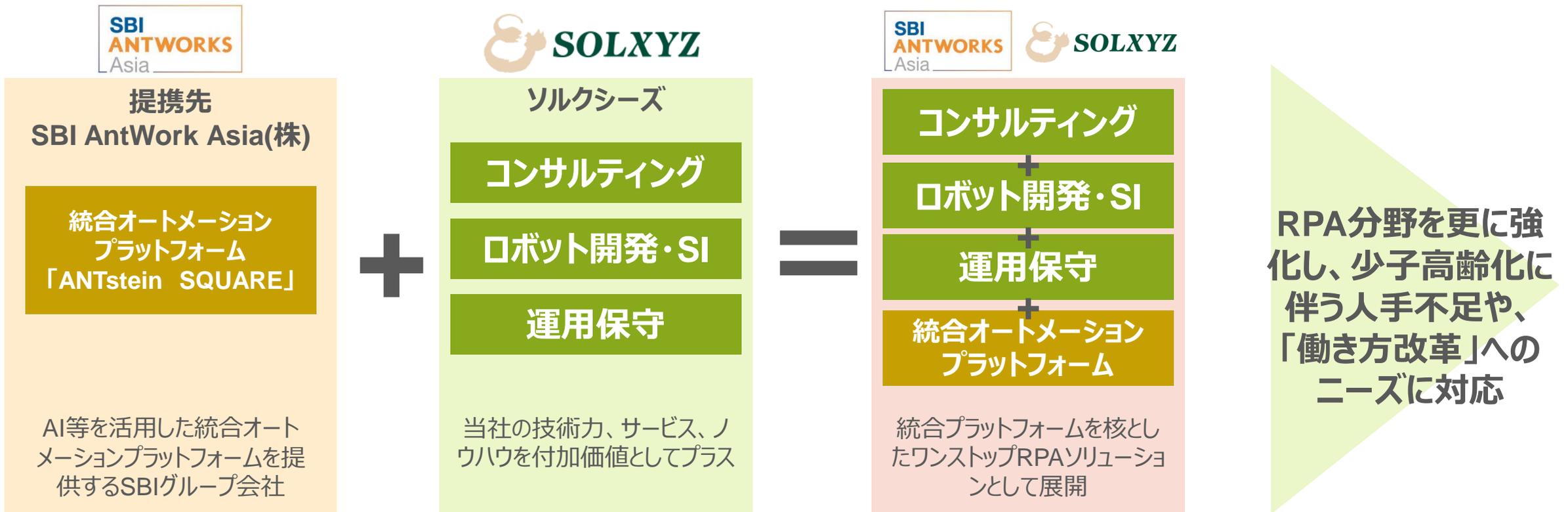
- DXやFinTechの流れにより、SBIグループのプラットフォーム活用等による地方銀行のデジタル化需要が旺盛
- SBIグループが筆頭株主 & 銀行系開発に強い子会社を持つユニークなポジションが奏功し、案件増加中

## FinTech関連案件受注の背景



# SBIグループとの協力によるRPA分野の強化（3Q後のリリース）

- ・RPA製品を扱うSBIグループ子会社との間で統合オートメーションプラットフォームの販売契約に合意
- ・同社のRPA製品に当社のコンサルティング・開発・保守といった付加価値を加え、RPAソリューションとして展開



# FinTech関連の伸長-2（クレジット分野の強化）

4月に子会社化した、クレジット（キャッシュレス化）向けコンサルティングサービスを行う  
(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティングは好調、  
既に国内外のキャッシュレス化へのコンサルティング案件を複数獲得



コンサルティング領域強化により、付加価値&利益率が向上へ



利益率のイメージ  
(両端の工程の利益率が高い)

# 市場規模：クレジットカード市場

- ・キャッシュレスやQRコード決済、セキュリティ構築（PCIDSS）等、クレジット分野の開発需要は好調の見込み

クレジットカード市場規模推移と予測\*



クレジットカード市場は  
**2023年に100兆円突破**  
との予測\*\*

\*2019年の矢野経済研究所リリースを元に当社作成  
\*\*同リリースより引用（金額は取扱高ベース）

# 主要子会社の状況：エクスマーション（自動車・メディカル）

## (株)エクスマーション（4394・東証マザーズ）



- ・ 組み込みソフトウェア開発に特化したコンサルティングファーム  
自動運転（CASE\*）やその他組み込み分野に強み
- ・ 戦略的投資実行のタイミングで新型コロナウイルスの影響が重なり、通期下方修正
- ・ 戦略的投資の成果の1つとして、自社コンサルティングノウハウを社員育成プログラムとしてサービス化した「DeruQui（デルクイ）」をローンチ、順調なスタートを切る



エクスマーション 通期業績予想 (百万円)



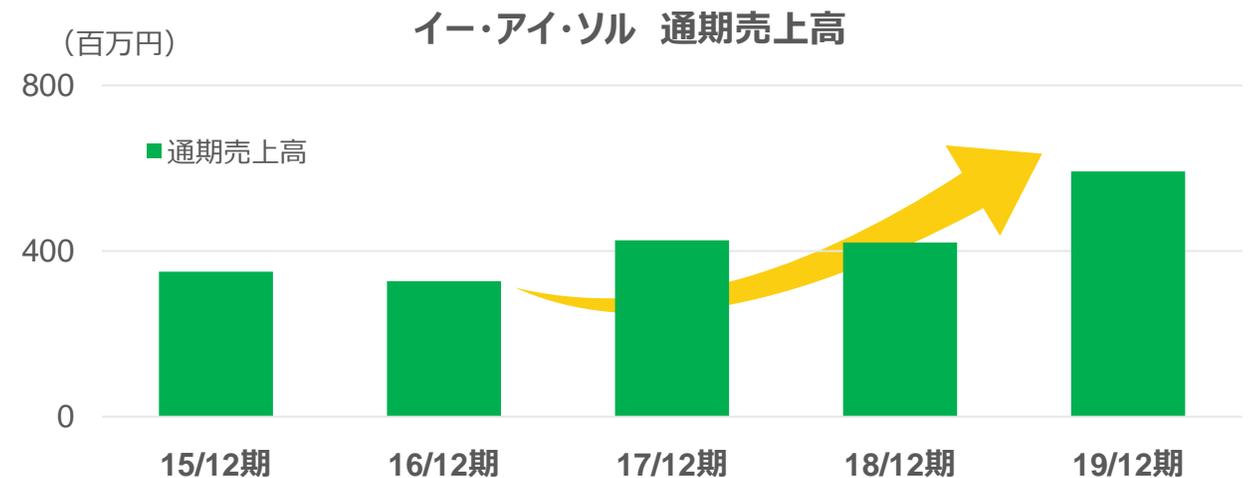
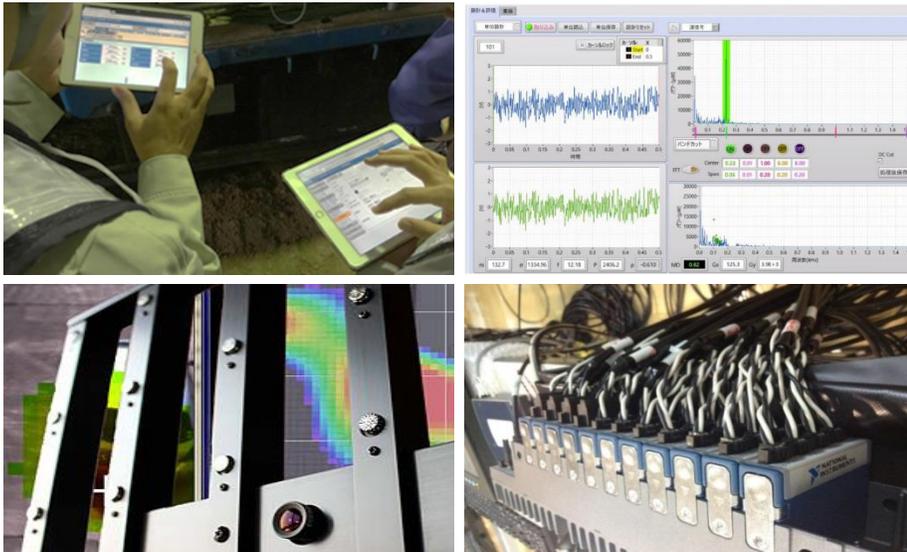
\*CASE = Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動）、以上の先端技術分野の頭文字を組み合わせた総称

# 主な子会社の状況：イー・アイ・ソル（IoT・IIoT）

## (株)イー・アイ・ソル

**E.I.SOL**   
Embedded Instrumentation Solution

- ・ IoT（IIoT）・組込・制御・計測関連（特にセンサー系）のソリューションに特化したソフトウェア受託開発業
- ・ IoTを駆使した工場の「予知保全システム」が好調、NI（日本ナショナルインスツルメンツ）社のデバイスCompactRIO等とEISOLの組込ソリューションの組み合わせであり、既に導入実績あり
- ・ 第3四半期は一部案件の期ズレにより減収減益も、5G関連や予知保全システムの需要は堅調、期ズレ分も4Q計上予定

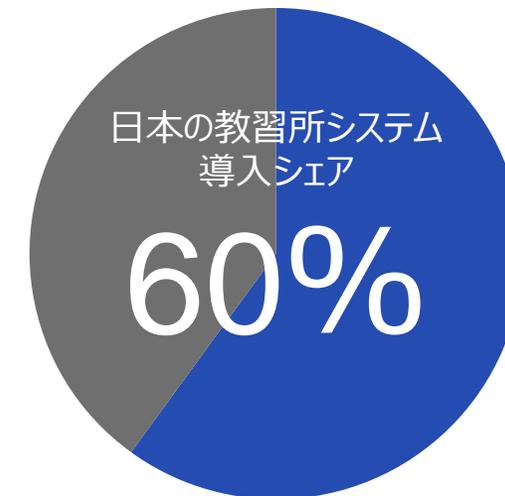


# 主な子会社の状況：自動車教習所システム（ノイマン）

## (株)ノイマン



- ・ 自動車教習所向けのeラーニングシステムの開発等、各種ソリューションを提供、国内自動車教習所における主力システムの導入シェアはおよそ60%を占める
- ・ 完全回復までは時間を要するものの、新型コロナウイルスの影響で停止していた営業活動が徐々に再開
- ・ ベトナム向けの開発も同様に再開した他、新商材の販売も開始
- ・ 第3四半期は新型コロナウイルスの影響を引きずるも、子会社間合併の影響もあり、前年同期比では増収増益

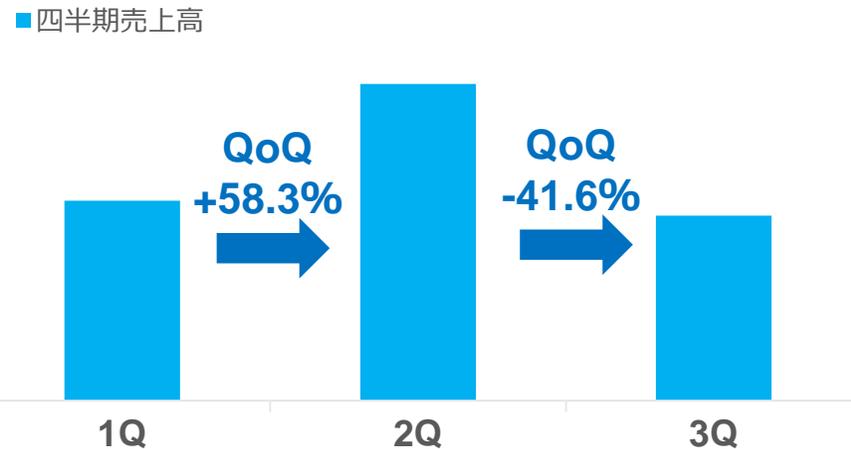


# 主要子会社の状況：（株）Fleekdrive（クラウドサービス）



SaaS型クラウドサービス「フリークドライブ」

Fleekdrive 四半期売上高の推移



- ・ 大手含め契約社数は順調に増加し、**9月末で550社超**、解約率も低い水準で推移
- ・ セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・ 現状国内での競合はなく、最大手の競合は某海外ユニコーン企業
- ・ 既に粗利ベースでは利益貢献をしているものの、営業利益以下での貢献は22/12期以降の予定
- ・ **テレワークに伴う需要を背景に堅調に推移、無償キャンペーンの効果は限定的も、本来の有償契約が好調**
- ・ **今後はERP製品としての展開も視野に育成**

# Fleekdriveは10万ユーザーを突破！

Fleekdriveは**10**月に**10**万ユーザーを突破！



メールに依存しないファイル共有、細分化されたアクセス管理に基づく高セキュリティ、円滑なワークフロー支援などの強みが国内企業を中心に評価され、この2年でユーザー数は約2倍に成長中！

# 通期業績予想、株主還元方針



# 通期業績予想

- ・新型コロナウイルスの業績への影響は残るものの、現時点ではほぼ計画どおりの進捗で推移
- ・第4四半期に特別損失と特別利益の計上予定だが、通期業績への大きな影響は無し
- ・子会社の先行投資のため前期比では減益も、過去最高水準の利益となる予想

(単位：百万円)	2019/12期		2020/12期		前年同期比
	実績	売上高比	業績予想	売上高比	
売上高	13,478	-	14,500	-	+7.6%
売上総利益	3,070	22.8%	3,150	21.7%	+2.6%
営業利益	946	7.0%	850	5.9%	-10.2%
経常利益	975	7.2%	850	5.9%	-12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	567	4.2%	550	3.8%	-3.1%

# 業績予想進捗

- ・期初より下期偏重の計画としており、概ね想定どおりで、前年度と同ペースの進捗率
- ・新型コロナウイルスの影響で期ズレとなった分の多くは第4四半期に計上予定

(単位：百万円)	2020/12期 3Q実績	2020/12期 通期予想	通期計画進捗
売上高	9,524	14,500	65.7%
売上総利益	2,160	3,150	68.6%
営業利益	526	850	61.9%
経常利益	570	850	67.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	360	550	65.5%

# 株主還元方針（11/27増配を決定）

- ・11/27付で1株当たり配当額を**3期連続の増配となる17円に決定**
- ・今後も業績や配当性向を考慮しながら、安定した配当の実施を重視

## 配当額の推移

年度	中間	期末	合計	配当性向
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円	126.0%
2019年12月期	0.00円	16.00円 (19/12/19増配)	16.00円 (19/12/19増配)	34.3%
2020年12月期（予）	0.00円	10.00～16.00円 → <b>17.00円</b>	10.00～16.00円 → <b>17.00円</b>	<b>37.0%</b>

# 中期経営計画（19/12期~21/12期）

（2019/1/31公表）

※期初より変更なし



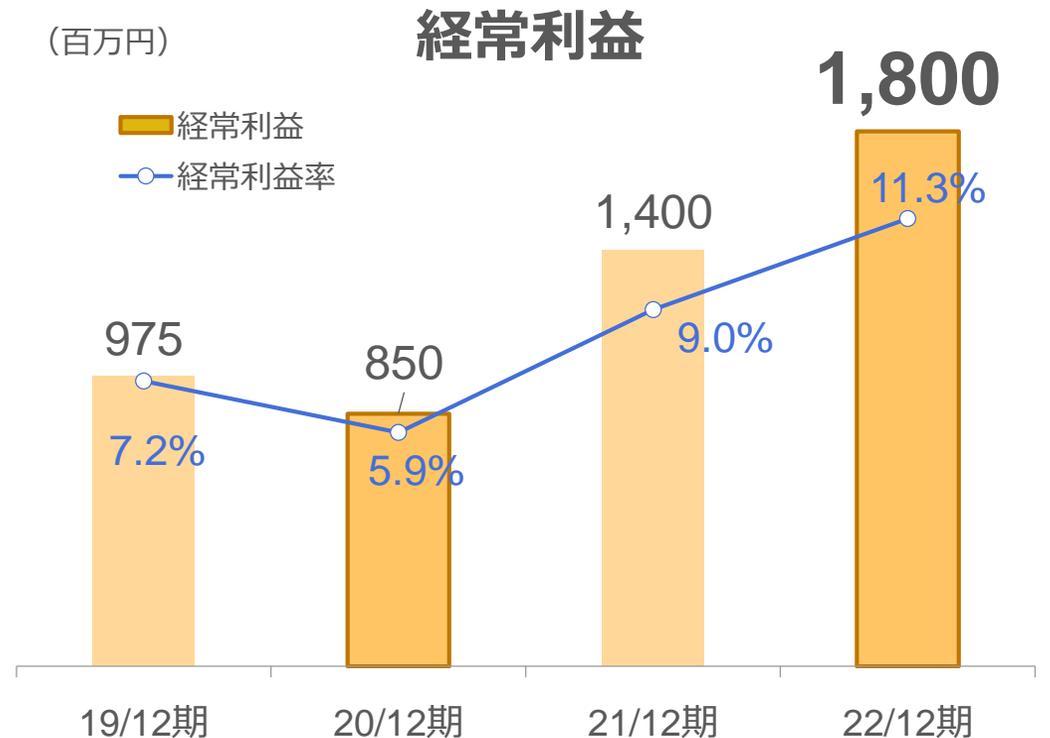
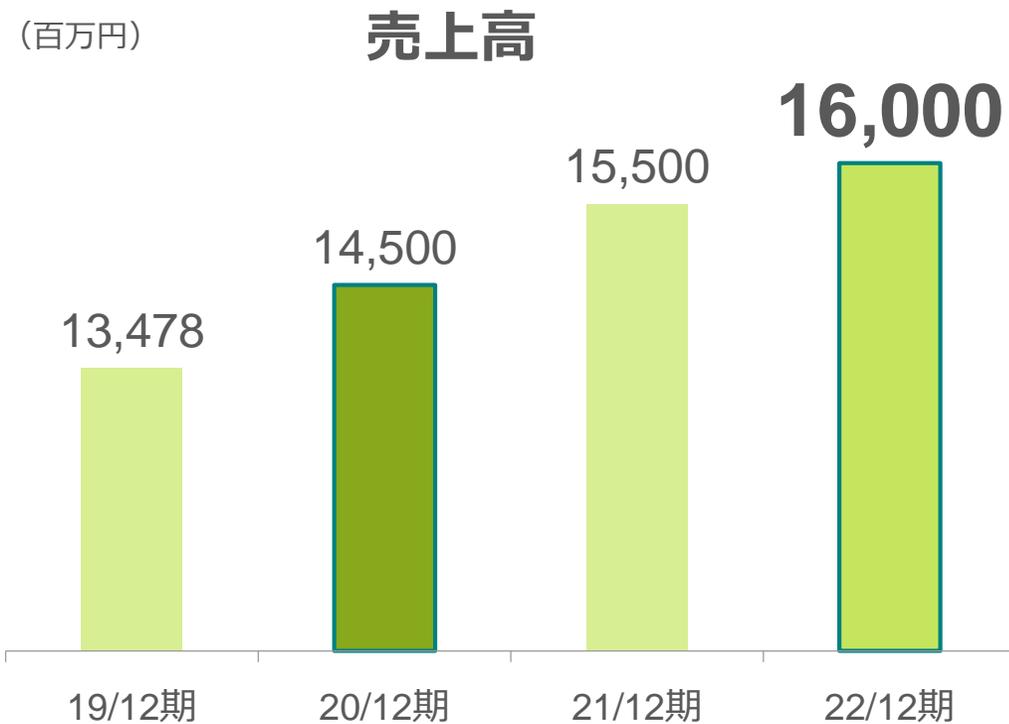
# 中長期の環境認識/当社戦略方針

- ・クラウド化、IoT、CASE等を前提としたサービスも始まり、デジタルトランスフォーメーション（DX）は一層加速
- ・各分野に特化した子会社によりどの分野にも対応できる技術力がある一方、増えるニーズを取り込みきれぬ組織力の強化が必要

各先端技術	環境認識	当社の戦略方針・施策
全体（DX）	働き方改革や業務効率化の推進により、企業のIT投資・自動化は堅調に推移	当社全体で需要をキャッチアップ
クラウド化	クラウドサービスの利用形態が多岐にわたり、今後はクラウドサービスを最優先とする「クラウドファースト」の時代へ	クラウドサービスを提供する(株)Fleekdriveを中心に展開。AIのサービス化とのシナジー、海外展開も視野に重点的に展開
IoT	業務効率化やコスト削減を目的としたIoT利用の時代から、IoTを前提とした新サービス創出の時代へと移り、需要も好調。	IoT事業推進室を中心に、子会社で強みを持つセンサー技術を組み合わせ、工場での予知保全システム等、IIoTも視野に入れた新ソリューションを創出
CASE	2020年以降、自動運転レベル3の車両が一般化の見込み。次世代コネクティッドカーなど、車両に追加されるソフトウェアは急増へ。	グループ会社を中心とし支援体制を深耕。急増するニーズを取り込みきれぬ体制づくりのための先行投資も強化
FinTech & AI	FinTechは個人のキャッシュレス化から金融機関の送金システム等、金融の業務部分まで範囲が拡充。ブロックチェーンやICOも研究が進む。AIはAIスピーカー等、個人利用の拡大の他、RPA導入も進む。	FinTechではSBIグループの「証券コンソーシアム」への参加・協力等、将来的な関連開発の案件獲得に向け下準備を進める。AIでは資本参加により可能となったAIサービス化により、クラウドサービスとのシナジー創出に取り組む。

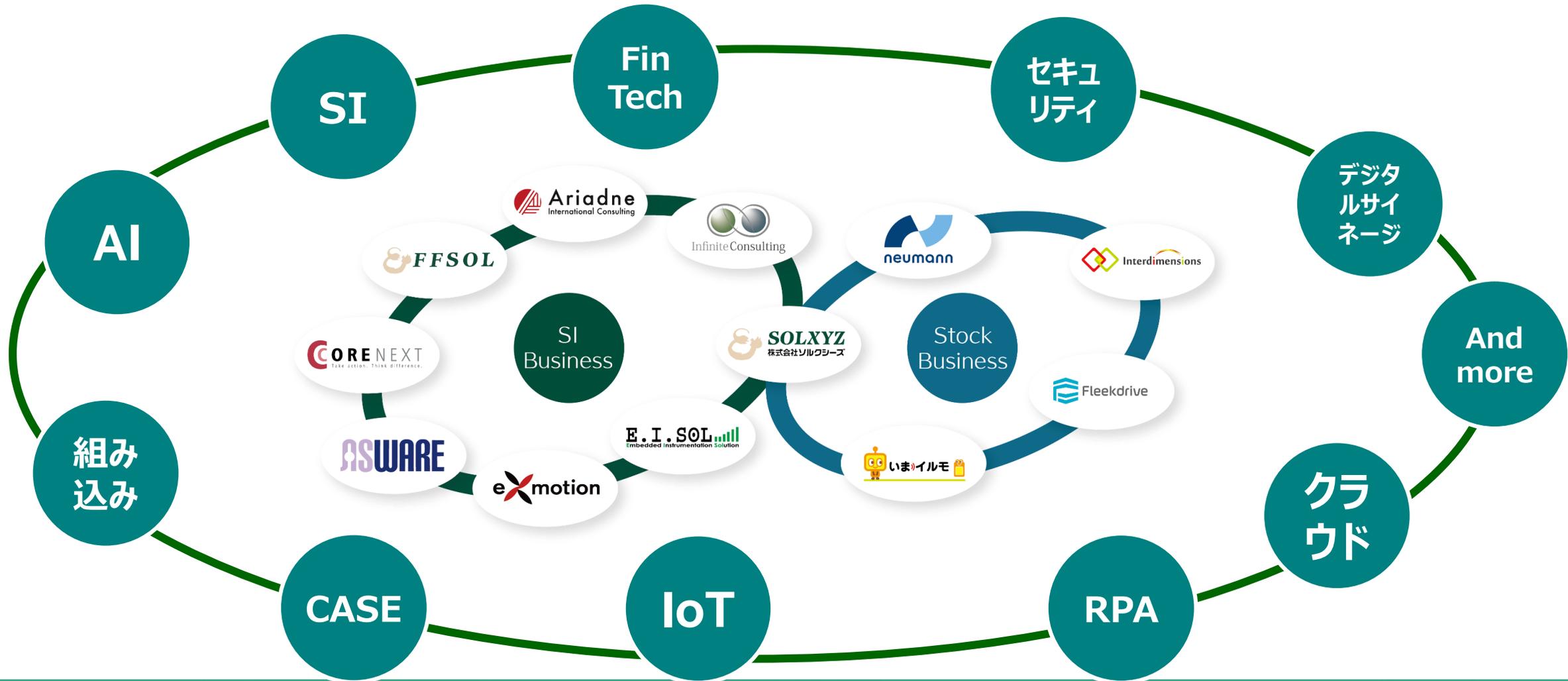
# 中期経営計画

- 売上高については長期的に堅調なものの、ストックビジネス強化に人員を割くため、保守的に設定
- クラウドサービスの黒字化や今期の先行投資による経営基盤強化などで、利益面については今後も高い伸びを見込む
- **新型コロナウイルスの影響は大きくないものと見込んでおり、現時点で期初より変更なし**



# 基本方針：グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保



# 基本方針：SIとストックビジネスの比率を50：50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ

将来の事業構成比

ストックビジネス  
50%  
SIビジネス  
50%

中計目標売上高  
160億円

19/12期売上高  
134億円

19/12期

2022/12期

...

# APPENDIX





「情報技術の分野で究極の問題解決を提供し、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。」

## 経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業を目指す

# 沿革

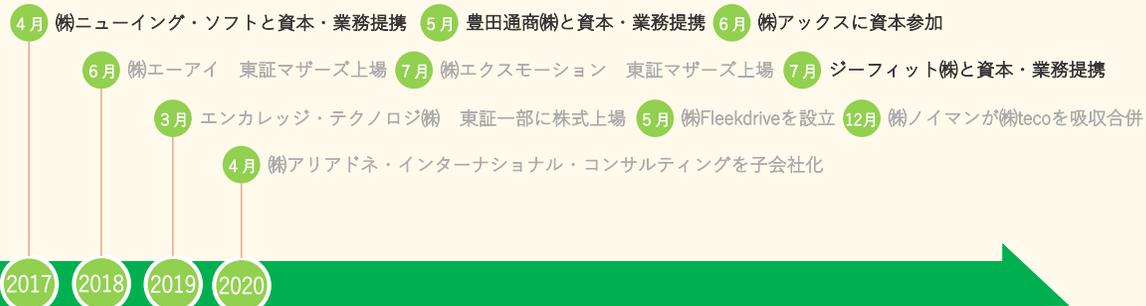
設立～上場



グループ構築開始～東証一部上場

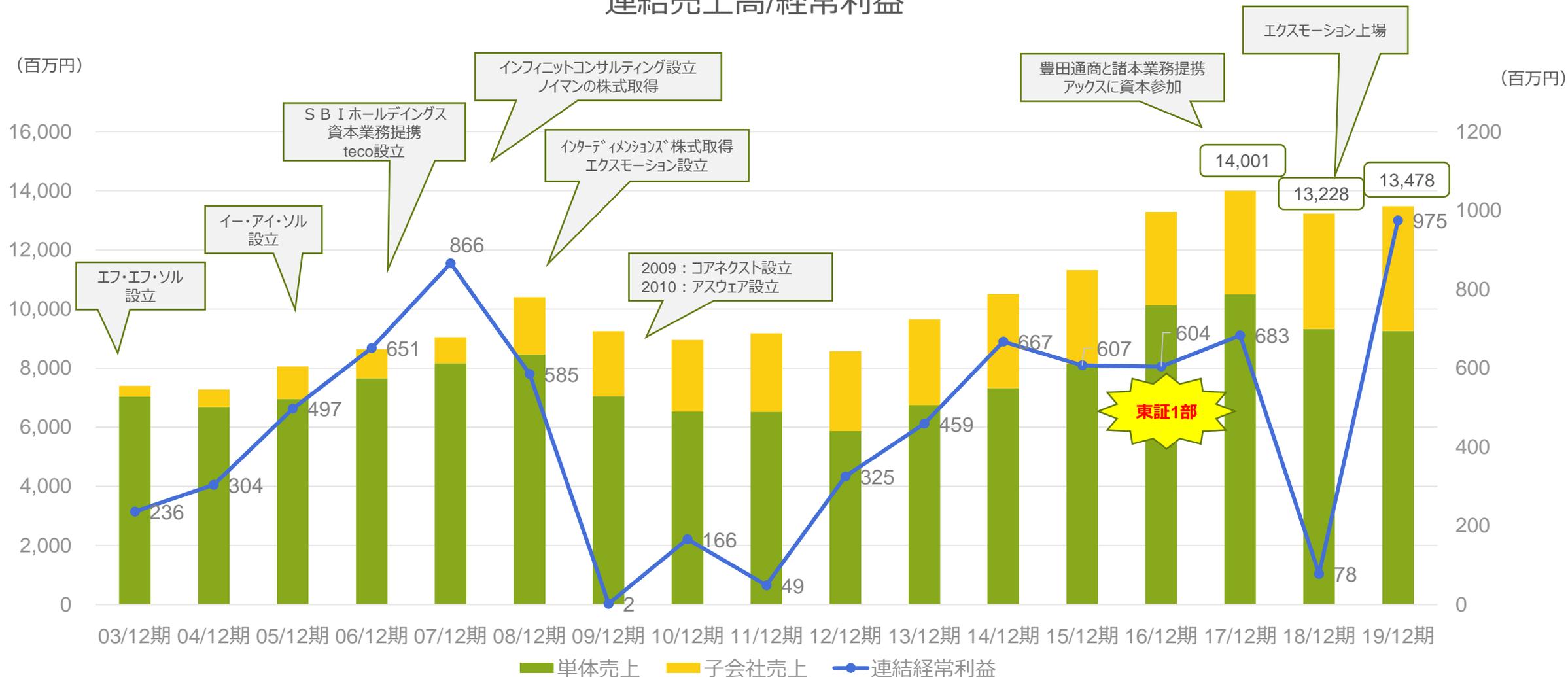


企業価値向上に向けた新たなステージ



# 沿革と業績推移

## 連結売上高/経常利益



# 会社概要



SOLXYZ

## 株式会社ソルクシーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21

- 金融・通信・基盤分野などのシステム開発に専門特化
- 生活や企業のシステムを支えるインフラを、ワンストップで構築・運用する企業集団

- 社長 : 長尾 章
- 設立 : 1981年2月 (2020年度は41期目)
- 資本金 : 14億9,450万円 (2020年6月末現在)
- 売上高 : 132億2,863万円 (2019年12月期連結実績)
- 営業利益 : 6,346万円 (同上)
- 従業員 : 746名 (2020年6月末現在連結合計)
  
- 主要株主 :

SBIホールディングス(株)	2,150千株	16.0%
(株)ビット・エイ	1,320千株	9.8%
長尾 章	559千株	4.2%
(株)ヤクルト本社	530千株	4.0%
豊田通商(株)	134千株	1.0%
※自社株	1,370千株	10.2%
※発行済株式数	13,410千株	
(2020年6月末現在)		
  
- 上場市場 : 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4284)

- グループ会社

(株)エフ・エフ・ソル	(95.9%)
(株)イー・アイ・ソル	(100.0%)
(株)インフィニットコンサルティング	(100.0%)
(株)ノイマン	(100.0%)
(株)インターディメンションズ	(100.0%)
(株)エクスマーショ 東証マザーズ (4394)	(57.2%)
(株)コアネクスト	(100.0%)
(株)アスウェア	(100.0%)
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	(75.7%)
(株)Fleekdrive (2019年5月7日営業開始)	(100.0%)
(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング	(76.9%)
  
- 親密出資先

エンカレッジ・テクノロジー(株)	東証マザーズ (3682)	(3.4%)
(株)エーアイ	東証マザーズ (4388)	(7.1%)

# 免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

## 【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: [ir-post@solxyz.co.jp](mailto:ir-post@solxyz.co.jp)

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>